

## 防災学術連携組織

### 来月9日発足

防災や減災、災害復興に関わる120以上の学会が参画するネットワーク「防災学術連携体」が、2016年1月9日に発足する。定期会合の開催や各学会を紹介するポータルサイトの運営などを、学会同士の情

**防**  
BOSAI  
INDUSTRY  
**災**

報交換を活性化。学術連携を図り、防災・減災研究の推進を図る。学会間の緊急連絡網の整備など、災害発生時に備えた連携体制も構築する。日本学術会議の会員が主導する。地震や津波、火山などの災害を研究する学会のほか、土木学会などの工学系、日本地質学会などの理学系、日本

## 120超の学会参画

救急医学会などの医学系など、幅広い分野の学会が参加する。

12月24日に準備会合を開き、幹事会を発足。2人の代表幹事らを選出する。また、連携の窓口となる防災連携委員を各学会から2人ずつ選定。このうち1人は55歳以下を条件にして、若手・中堅研究者の育成につなげ

る。

防災や減災、災害復興の推進は、理工系や社会経済、医療などの多くの研究分野が関わる。日本学術会議の会員有志は、学問の世界は専門分化が進んでおり、全体を統合する力が弱くなっていることを懸念。防災対策は専門分野の枠を越えて総合的に取り組む必要があるとして連携体の発足を決めた。